

長期計画審議会における後期基本計画重点事業の評価について

本市の行政評価の取組み

本市は、平成13年度から試行的に行政評価システムを導入し、平成14年度以降は事務事業評価を段階を追って導入してまいりました。その目的につきましては、大きく次の3点に集約されます。

まず1点目は、本市の基本構想に謳う協働型社会の構築です。

現在各部各課において取り組んでいる事務事業の執行にあたっては、全所属職員が、民間事業者への委託などの所謂民活、あるいはボランティアやNPOといった市民パワーの活用を検討し、工夫しながら具体化していくことが必要です。また、市民に対しては、行政が現在執行している事業について、誰を対象に、どのような目的で、どれくらいの経費をかけ、どのような成果をあげているのか、説明をする責任を果たさなければなりません。

2点目は、限られた行政資源の中での事業間・施策間調整です。

即ちこれは、予算要求から査定、予算案の確定といった予算編成作業に、行政評価の評価結果を活用し、事業の重点化を図ることです。ただし、予算編成は限られた財源枠の中での作業とならざるを得ず、評価の結果を最終的な予算案の内容と合致させることには難しい面もありますが、予算編成に十分に活用していくことを積み重ねながら、施策評価へと繋げていく中でこの目的を達成していきたいと考えています。また、限られた行政資源として、職員の適正な配置にも資するようにしていきたいと考えています。

3点目は、職員の意識改革です。

職員がそれぞれ自身担当している事務事業を検証することによって、そのあるべき姿を日常業務の中で考え、改革し、実現できるようにすることが必要です。

行政評価の現状と課題

以上のような考え方のもとに、これまで6年間に亘って事務事業評価を継続して実施し、昨年度は審議会事業の評価等を含めて418の事業について評価作業を行いました。また、本年度は前期第2次実施計画に掲載されている事業を中心に評価対象事業を絞って、147の事業にかかる事務事業評価を実施しました。

これらの結果、庁内においては、事務事業評価によって事務事業の見直しや予算編成への活用が図られているとの庁内アンケート結果が得られてきております。

一方、昨年度市のホームページ上から実施いたしました「市民満足度調査」では、市民の行政評価の認知度は37%、満足度については8%という低い結果にとどまりました。また、市ではホームページ上で評価結果を全文公表しておりますが、これに対する市民からの問合せは皆無に等しく、ホームページに掲載するだけでは市民への説明責任を十分果たしていると言えないのが現状です。

さらに、行政改革が浸透してきていることにより、庁内での事業の見直しが進み、庁内の視点だけでは休廃止すべき事業や課題を抱える事業を抽出することが難しくなってきた側面もあります。このようなことから、市議会を中心に、行政評価の作業に外部の視点を取り入れるよう求める声が強くなってきています。

外部評価の考え方

行政評価の外部評価につきまして、本市では従来、事務事業では日常における市民一人一人の各事業へのかかわりが平均しないことから、市民による事務事業評価の外部評価には困難が伴うと考えており、個々の事務事業評価の段階ではなく、施策評価へステップアップした段階において導入する方針でした。しかしながら、上述しましたような状況を鑑み、また市民への説明責任を果たすという行政評価本来の目的に少しでも近づくため、試行的に一部外部評価を取り入れていきたいと考えています。

後期基本計画主要事業の評価のお願い

長期計画審議会では、現在後期基本計画の策定作業を中心的に担っていただいているところですが、この後期基本計画のコンセプトのひとつに、事業の重点化を図り、市民によりわかりやすい形でお示しをすることがあります。従って、後期基本計画策定作業においては、基本計画に掲載する重要事業について、本来一つ一つ説明をしなければならないところです。

しかしながら、なかなかそのようないとまを取ることができませんので、5つの主要な事業につきまして、今年度の事務事業評価表をそのまま委員の皆様にお示しすることと致しました。この5つの事業は、市長部局の各部から、長計審の委員の皆様の視点でもう一度事業のあり方を見ていただくという主旨で抽出したものです。

委員の皆様には、お忙しいところ恐れ入りますが、これら5つの事務事業について事業内容と評価をご覧頂き、今後の事業展開のあり方につきましてご意見を頂きたいと考えています。

本日は、この評価表を一旦お持ち帰りいただき、次回11月22日開催の長計審で各事業10分程度の時間の中で、ご意見を交換して頂きたいと考えています。この意見交換の後に、別紙評価表のご提出をお願いしたいと思います。

なお、次回会議での意見交換に向けまして、事業の内容や評価について事務事業評価表だけでは読み取りづらい点やご不明な点がございましたら、事前に事務局までお知らせ下さい。資料を用意させていただいたり、状況によっては次回の長計審に担当者を直接読み取りして対応してまいります。

長期計画審議会委員による評価表

			委員名	
習志野郵便局旧局舎跡地整備事業			(担当部) 企画政策部	
1次評価結果			今後の事業展開のあり方(委員記入欄)	
成果の方向性	コストの方向性	事業の方向性	(コメント)	
拡充	現状維持	優先事業		
ボランティア・NPO活動推進事業			(担当部) 総務部生活安全室	
1次評価結果			今後の事業展開のあり方(委員記入欄)	
成果の方向性	コストの方向性	事業の方向性	(コメント)	
拡充	現状維持	優先事業		
ファミリー・サポート・センター事業			(担当部) こども部	
1次評価結果			今後の事業展開のあり方(委員記入欄)	
成果の方向性	コストの方向性	事業の方向性	(コメント)	
現状維持	現状維持	現状維持事業		
ハミングロード再整備事業			(担当部) 環境部	
1次評価結果			今後の事業展開のあり方(委員記入欄)	
成果の方向性	コストの方向性	事業の方向性	(コメント)	
拡充	現状維持	優先事業		
産学官連携プラットフォーム事業			(担当部) 市民経済部	
1次評価結果			今後の事業展開のあり方(委員記入欄)	
成果の方向性	コストの方向性	事業の方向性	(コメント)	
拡充	現状維持	優先事業		